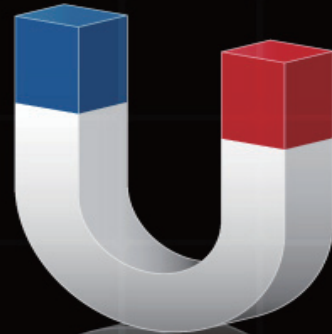


Composite Material,  
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジム系等方性コンパウンド
- ・ネオジム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心としては「軟磁性材料とともに」と題して、当協会理事かつ軟磁性材料研究会主査である元・日立金属(株)の山内清隆氏にご寄稿頂いた。2012年11月に第1回軟磁性材料研究会を開催して以来、活発な活動が続けられており、また、2014年にはその内部組織として圧粉磁心の規格化・標準化部会も立ち上げにもご尽力頂いた。これらは山内氏が長年に亘り関与した経験に裏付けられた成果と考えている。

BM レポートでは、5月の技術例会で「異方性ボンド磁石および新磁石材料の開発動向」と題してご講演頂き成功裡に終了した内容を、講師の許可を得て再掲載させて頂いた。アンケートの結果、高輝度光科学研究センターの中村哲也氏による軟X線顕微鏡による磁区観察技術は、注目度および参考度が特に高い内容と評価された。また、韓国磁気学会 産学研協力委員長の崔判圭氏には、大変重要な韓国における磁性材料の最新の研究動向についてご講演頂くことができた。大変貴重なデータが詰まっているのでぜひ参考にして頂きたい。

寺子屋塾の前期講座は、「ボンド磁石の製造プロセス技術を理解しよう!」と題して、3名の講師により、「ビーズミルによる微粉碎・分散技術」、「着磁技術」、「ボンド磁石の混練装置の基礎知識」というテーマでそれぞれ丁寧な講義がなされた。特に、着磁技術の講義には受講生が60名を越し、関心の高さが見られる結果となった。

軟磁性材料、硬磁性材料それぞれの応用例を今後も取り上げることで、本当に必要な材料特性を理解して材料開発を進めるために役立つ勉強会を継続して進めていきたいと考えている。

機関紙編集委員長  
大森 賢次